

	<h2>食物栄養科 講師</h2>
	<p>鈴木 耕太 (すずき こうた)</p>
	<p>Suzuki Kouta</p>
<p>自己紹介 (プロフィール)</p>	<p>初めまして、平成 29 年度から専任教員となりました。山梨学院短期大学食物栄養科 OB でもありまして、卒業後は病院で管理栄養士として調理業務をはじめ献立作成、栄養指導の業務を行ってききましたので、より実践的な調理実習や講義を行っていきたいと思います。</p> <p>美味しい料理を作り、喜んでもらうことが好きです。</p> <p>一緒に美味しいものを作りましょう</p>
<p>学生へのメッセージ</p>	<p>良い栄養士の条件は食べることが好きであること、食べることを愛していることです。</p> <p>短大での 2 年間は大変短いものです。1 時間 1 時間の授業を大切に、勉学に励んでください。</p> <p>また、多くのことができる貴重な時期でもあります。遠い海外に行ったり、サークル活動をしたり、今しかできない経験をしてください。</p>
<p>保有学位</p>	
<p>保有資格・免許</p>	<p>管理栄養士 専門調理師 調理技能士 第一種高校教諭免許 第一種中学国語教諭免許</p>
<p>研究分野</p>	<p>調理学 食文化 ガストロノミー</p>
<p>主な担当科目</p>	<p>調理の基本 応用調理実習 調理学 食文化論</p>
<p>学内での活動</p>	
<p>学外での活動</p>	<p>ジビエ料理普及啓蒙活動 食の祭典やまなし審査委員</p>

所属学会	栄養改善学会 食育学会 調理科学会
------	-------------------

主な職務実績（抜粋）

事項 (単独・共同)	年月日	概要
糖尿食食事会（共同）	平成 26 年 9 月	糖尿食食事会での集団栄養指導
集団栄養指導（共同）	平成 2 8 年	集団栄養指導としての糖尿病教室の実施、血糖値が上がらない食事法、食品交換表を使用し指導

主な教育研究業績（抜粋）

著書、学術論文等 (単著・共著)	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等	概要
「路女日記」の食記事に関する分析調査（第4報）	共著	山梨学院短期大学 紀要第36号	「路女日記」に記された食記事の中から通過儀礼及び災害関連を抽出し調査した。災害時の見舞いの食品として、特に緊急を要する場合は握り飯と煮染が多かった。また火事、地震の見舞いに対しては茶と菓子などの対応を欠かさなかった。見舞いの用途が多数みられ、人と人との強い共同体意識を大切にしていた当時の江戸の事情が伺えた。
山梨県内における第二次世界大戦時下の小麦生産に関する研究	共著	山梨学院短期大学 紀要第36号	第二次世界大戦時では小麦粉生産、加工の記録は殆ど残されていなかった。ところが最近になりその点を探る史料が発見されたことから、山梨県における小麦粉の生産状況を調べ、栽培、製粉技術、調理加工の変遷を調査する事とした。 大戦中の食糧難をしのいだ要因として小麦の増産計画、小麦耕作、製粉技術、小麦粉料理への展開があげられる。農業会農業統制機関として果たした役割は大きかった。
山梨県内における第二次世界大戦時下の小麦生産に関する研究(第2報)	共著	山梨学院短期大学 紀要第37号	1報に続き、第二次世界大戦中の食糧増産の状況を調査した。 小麦品種による生産面積、生産高、収穫高の増産計画が示され耐寒性、耐倒伏性、多収性が検討された。粉食文化を加速させた要因は、小麦増産と水車や電力稼働による技術の向上があり、うどんやおやき等の小麦加工食品の料理を作り出す条件が整い食文化が形成された。